

The Tibetan Medical Oral Examinations

チベットの 医学 口頭 試験

14分41秒
日本語訳 小川 康

0:00~0:25

北インドダラムサラにあるメンツィカン（医学暦学院）のお堂。女子学生が暗誦の途中で泣き出してしまう。

00:26

（校長先生ガワン・ソーパ） 学生たちは1年生の時から時間を見つけては医学教典『四部医典』の暗誦に励みます。そして5年生となり卒業試験を終えた後に、暗誦試験ギュ・スムへの志願者が数名乗り出て発表されます。くじ引きで暗誦の順番と日時が決まったら、たとえ準備が間に合わなかったとしても変更は許されません。昨年为例にとると7名が志願しました。暗誦が始まれば中断は許されませんが、日が暮れば翌朝に続きを行います。暗誦にかかる時間は速ければ2時間半、おおよそ3, 4時間ですが、5時間以上かかる場合は達成とみなしませんし、暗誦に間違いが多くて、暗誦の出来が50点（100点満点）以下ならば、これも認めません。

1:13

♪ ベーカーゼ、ベーカーゼ、マハ・ベーカーゼ （薬師如来の真言）

1:31

チベット語のタイトル 「ギュ・スム（三部）ジェ・ギェク（暗誦する）」
（四部医典の根本部、論説部、秘訣部、結尾部のうち、秘訣部を除く三部の暗誦儀式）

1:40

早朝。北インドダラムサラにあるメンツィカン女性寮の屋上で女子学生が四部医典を素読する場面

1:51

（女子学生 チメ・ハモ）メンツィカンで一、二、三年生と進学してきて、四年生のとき五年生の暗誦試験に立ち会いました。そのとき女子6名、男子1名がギュ・スムを暗誦しました。そのとき私は「自分もギュ・スムを出来るかも」と感じました。私は友だちの前で暗誦するときは30分かかるところを、先生に囲まれた試験では緊張して20分、または15分ほ

どの速さで終えてしまいます。だから覚えることはできると思います。でもみんなの前で緊張して上手く暗誦できなければメンツィカンに迷惑をかけることになります（苦笑）

2:53

メンツィカン講堂で五体投地し祭壇にカタ（儀礼に用いる白い布）を奉じるチメ・ハモ

3:10

（教師と学生に囲まれた中、四部医典の冒頭から暗誦をはじめ。）

インドの言葉ではアムリタ・フリダヤ・アンガ・アシュタ・グハヤ・ウパデッシャ・タンタラとされる。チベット語では甘露心経八支部の秘訣相伝とされる。世尊、如来、阿羅漢、無上正覚である薬師瑠璃光の王に帰依いたします・・・・・・

3:13

（校長ガワン・ソーパ）

四部医典の四部すべてを暗誦するのは難しい。いっぽう三部というのは、根本部、論説部、結尾部の三つで、順に6章、31章、25章からなります。現代の大判書籍タイプにすると約200ページになります。暗誦の速度が速ければ2時間半、普通は3、4時間かかり、5時間以内に暗誦を終えなければギユ・スム達成とはみなしません。

4:00

（チメ・ハモの暗誦）

そしてまた智慧の聖仙が次のように仰せられた。おー、偉大な聖仙よ、聴きなさい。病を治療する対処法とは食と生活習慣と薬と外科である。つまり馬、ロバ、獺、古い肉、人肉と穀物バター、古いバター、黒糖、ニンニク、ネギ。乳、当帰、黄精、発酵麦団子と黒糖酒、骨酒はルン病の食。牛と山羊のヨーグルト・乳清、新鮮バター、草食動物肉・・・・・・

（根本部第4章）

4:08 （チメのインタビュー）

わたしはカム（チベット東部）で生まれて、2歳の時に両親といっしょにラサにきました。（ラサの映像が流れる）、そして6歳までラサにいましたが、学校などには通えませんでした。6歳のときに父親に連れられてネパールへ亡命して父親はチベットへと戻りました。ネパールで2か月過ごしたのちに、それから北インドダラムサラの難民収容所へ向かい、チベット子ども村で学びました。2年間はサイエンスの科目を選択していました。そしてメンツィカンの入学試験を受けましたが補欠順位1番となりました。それからサラ大学（ダラムサラ近郊にあるチベット人の大学）で一年間仏教を学んでからメンツィカンに入学しました。

5:20 (メンツィカンの講堂でイシェ・カンド先生の講義)

いいですか、みなさん、いつも気持ちを落ち着けて、患者には注意深く接しなさい。薬よりも大切なのは心なのです。

5:34 (校長先生の話)

メンツィカンの学習内容は1959年、チベットが滅ぶ以前まで、8世紀にユトク・ユンテン・ゴンポが医学校を設立し、カアチュッパ(十の困難を克服した者という意味)、医学博士、医学大博士の位を定めました。その後には、チャクポリ医学院とメンツィカンが設立されました。

6:08

(トガワ・リンポチェがメンツィカンで講義をしている映像(1963年ころ)の後に校長の話)

学習内容、教授法は昔から、そして亡命後も変わることなく受け継がれてきました。現在は21期生まで至っています。学習期間は6年。まず200, 300人もの志願者の中から試験で選ばれた25名が集います。そして入学前の半年間は仏教、暦学など基礎学問を学び終えてから、いよいよ5年間、医学の学びがはじまります。学びを終えるとカアチュッパの資格を得ることができます。

7:12

(メンツィカン構内、メンツィカン全景、ダラムサラの巡礼道の風景とともに薬師如来の真言が流れる)

♪ベーカーゼー(薬よ) ベーカーゼー(薬よ) マハ(偉大な) ベーカーゼー(薬よ)

7:33

(メンツィカン卒業生にむけてダライラマ法王のお言葉。この謁見は暗誦試験の直前に行われた)

一つ、物語を紹介しましょう。私は小さいころ天然痘のワクチンを打ちました。打ったのは太ったアムチでダライラマ侍医でした。ワクチンを打つと痛くて私はあちらこちら走り回って「太ったアムチが私を殺した！」と叫んだのです。(法王の笑い)

チベット薬はとても素晴らしいです。ひとつに人々の役に立つものであること。二つ目に、チベット医学はチベットの文化であること。文化であるがゆえに、衰退させることなく発展させていくことがとても大切です。わかりましたか。これらのことに注意して、直接、患者に愛情を抱いて奉仕することはもちろん、それでいてチベット文化を発展させていくという大きな意識を抱いてほしいのです。怠け心をしまいこんで、みなさんしっかり努力しなさいよ。

9:02

(法王への謁見を終えたあとのツクラカン(ダライラマ寺院)の風景の後に、チメのインタビューがはじまる。)

お釈迦様が記された仏典は真実だと感じます。実践しているとまさにその通りなのです。だから、薬師如来が説かれたこの医学と離れてそれ以外の仕事に就こうなんていまは思いもしません。

9:22

(チベット、ラサの風景、ダラムサラメンツィカンの創建時の写真、1980年ころのメンツィカン授業風景、2018年の授業風景とともに校長先生の話)

かつてラサにはメンツィカン、チャクポリ医学院があり、多くのアムチが輩出されてきました。アムチになるために必ず6年間学ばなくてはなりません。特に暗誦がとても大変です。原文の意味を覚えさえすれば暗誦しなくてはいいいではないかという意見はあります。しかし暗誦していなければ、試験のときに原文を記すことができません。解説書をすべて覚えることはできません。いっぼう、原文さえ覚えておけば、その一節から多くを解説することができます。便利さを求める現代社会の世相から考えれば暗誦はとても面倒なものでしょう。しかし伝統文化の面から考えれば暗誦はとても大切なものとなってくるのです。

10:12 チメが暗誦の途中で泣いている場面

10:41 (チメのインタビュー)

いままで5年間学んできました。でも、いよいよ卒業の暗誦試験の途中で原文が口からでてこなくなり間違えてしまったのです。それで泣いてしまいました。最後に暗誦を終えるとき、上手にできなかったことをすごく後悔しました。

11:28 (校長の話)

ギュ・スムの暗誦者が輩出されると教師はみんな喜びます。伝統が保持されるとともに、もちろん暗誦者にとっても筆記試験の際に役に立ちます。今回の暗誦者である女子学生を紹介すると、彼女はギュ・スムだけに限らず、一年生のときから常に一番の成績を修める努力家でした。その彼女がギュ・スムを達成することで、チベット社会に名前を残すことになるのです。

12:08

(講堂の時計が15時48分を示している。拍手とともに暗誦を終え、祝福の白い布カタを送られ、伝統儀礼としてヨーグルトが授与される)

12:38 (校長先生)

古来より白いヨーグルトは吉祥の縁起物とされてきました。患者の家に行く途中にヨーグルトや白い装飾物に出会うと吉祥とされるのです。したがって暗誦を終えた学生にヨーグルトを捧げることで将来の成功を願うのです。

13:01 (チメに多くのカタが捧げられる)

♪ベーカゼー・ベーカゼー・マハ・ベカゼー

13:14 (チメのインタビュー)

その場に両親はいませんでした。暗誦をはじめるにあたってメンツィカンの先生が私にこう言ったのです。「きっと上手くいくでしょう。ギュ・スムは誰しもができることではない。功德を積み、大いなる御加持を得たもののみがその権利を得ることができる。あなたにはその条件がすべて揃っている。暗誦試験の直前の午前に、幸運にもダライラマ法王への謁見が叶ったことで、もしかしたら、これでいままでの悪い行いがすべて浄化されたのかもしれない。」と。そのお言葉があったからでしょう。暗誦の途中でミスをして泣いてしまったとき、わたしは御前のダライラマ法王の写真に「これで、浄化されたでしょうか」という問いが心の中に浮かんだのです。その後、不思議と平常心を取り戻していつもどおりに暗誦を続けることができました。先生のアドバイスに助けられました。これでわたしの障害は取り除かれたような気がしました。

終了

●日本語翻訳者、小川（メンツィカン 14 期生。2008 年卒業）からの補足

制作 VOA Tibetan はアメリカに拠点を置くチベットラジオ局

この暗誦フィルムは、2018 年の 11 月に撮影されたと思われる。2019 年からメンツィカン教育部門は南インドのベンガルール（バンガロール）に移転しており、この撮影はダラムサラ旧校舎で行われている。

四部医典は八世紀に起源を有する医学古典。全般にわたって九韻詩からなり、ギュ・スムの暗誦儀式では約 8 万語を暗誦する。

主役のチメは、映像中では明言していないが、両親にかかわることで何らかの障害があったことをほのめかしている。